

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（参加学生）

平成 27 年 9 月 30 日

所属：医学部医学科 学年：1 年

氏名：宮地貴士

研修先大学・機関名等（国）： ビクトリア大学 （カナダ）

在籍身分：学生

渡航年月日： 2015 年 8 月 30 日

帰国年月日： 2015 年 9 月 27 日

○研修先での学習内容等

英語学習。オーラルコミュニケーションに力を注いだ。月曜日から木曜日までは学校に行き午前、午後のクラスがある。一般的な語学学校のような感じで、グループでのディスカッション、リスニング、発音矯正、プレゼンなどがメインであった。

○研修期間の生活面について

ホームステイであった。朝はシリアルやパンを昼は夜の残り物を夜は基本的にホストファミリーと一緒に食べた。自分の部屋が与えられており日本にいるときとあまり変わらない生活ができたと思う。

○研修期間全般にわたる感想

学校には日本人がすごく多い。授業のレベルもそれほど高くなく退屈であった。勿論クラスのメンバーは最高であり英語学習という側面を除けば最高に楽しいものであった。英語に関しては一カ月という短期間でありまだまだこれからというところで終わってしまったと思う。しかしながら、授業以外の面でたくさんのイベントに参加することができ多くのネイティブとコミュニケーションが取れたことは大きな収穫であった。留学生を対象にしたパーティー、日本語を学んでいる人向けの会話サークル、教会、ガーデニングなどアンテナをめぐらしていると英語を使う機会は授業以外にたくさん潜んでいた。学校任せにするのではなく自分の足を使って行動することの重要性を確認した。今回は初めての海外でもありただ英語を学習することだけではなく環境が整っている中で海外での常識、生活時の心構え、など海外留学を充実させるためには何が必要かを知りたかった。その意味ではものすごくためになった。

○今後の勉強計画

英語を使うことに対して抵抗がなくなり非常に話したい気持ちでいっぱいである。今すぐにも all rooms に行き話したい。一度話したことに対しては英語がスムーズになる。

今後話したことのある話題を増やしていきたい。また、TOEFL に向けての勉強が必要になってくる。特にリーディングはあまりやらなかったのがこれからの課題である。単語やリーディングなどをやりつつもあくまでリスニングやスピーキングなどオーラルコミュニケーションに重点を置いていくつもりである。

